

2017年2月4日

一般社団法人 全日本テコンドー協会 理事会 御中

特別委員会報告書

特別委員会 委員長 牧野文彦

特別委員会のこれまでの検討内容を報告いたします

また、各委員会への検討を依頼いたしますので内容について審議の程、お願いいたします。

特別委員会(仮称)の目的

個人登録会費の増額に理解を得るため、AJTAの会員であることに魅力を感じる事が出来るような取り組みを発案する

AJTAの経費削減、収入増加、事務局の効率化

1. 個人登録会費、加盟団体負担金、正会員費、競技大会参加費の増額金額の提案(平成28年12月10日理事会に提出)
2. 個人登録システムを利用した会員へのサービス  
大会開催情報、要項などを登録メールに配信  
試合の登録や申し込みも直接個人でできる
3. ランキング制度の導入の提案(強化委員会へ検討を依頼)  
実現したら階級毎のランキングを協会HPで発表  
ランキングを強化指定選手や代表選出の選考基準に利用
4. OP大会にポイントを付ける(強化委員会、競技委員会へ検討を依頼)  
収益増↓  
大会主催者がAJTAに公認料を支払う AJTAの収益増  
ルールづくり等競技委員会で検討の必要あり
5. 昇級審査の結果をHPで発表する(広報委員会へ)  
収益増↓  
級の認定証を印刷し販売(昇級審査委員会へ検討を依頼)

6. 各都道府県で寄付を募る(名誉段を贈呈)  
寄付を募る際、金額によって段位(4段or5段)を変える  
国技院に申請すれば発行可能
  
7. 複合大会の実施(競技委員会へ検討を依頼)  
プムセ、テコンドーダンス、キックパワー選手権、キックスピード選手権などの複合大会を開催することで、生涯スポーツとして会員の定着と会員数を伸ばす
  
8. 全日本大会の出場権を都道府県選手権に与える(競技委員会へ提案)  
県選手権大会(もしくは地方ブロック大会)に出場権を与え(協会に後援料をもらうなど)を先に確立し、実施したい。  
⇒全県の選手が出場する真の全国大会を目指す(体協参加、国体種目化を目指せる)  
⇒県大会が予選になれば、出場者が増加の可能性大&試合参加のため個人登録者増加が見込まれる。また、全日本への後援料収益増も見込まれる。  
⇒予選大会の出場者、セコンド、保護者の交通費、宿泊費の負担が減る。

以上